

## 【金融経済環境】

2021年度上期のわが国経済は、海外経済の好調を背景に輸出や生産で回復の動きが続き、企業業績が改善する中、設備投資が増加したほか、雇用や所得も緩やかに持ち直しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻さを増す中で、サービス支出を中心に個人消費が低調に推移したことから、全体としては緩やかな回復に止まりました。

当地方の経済は、輸出や生産が全体として緩やかに持ち直し、企業業績が回復に向かう中で、雇用・所得環境も総じて改善傾向を辿りました。しかし、再三に亘る緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛や営業自粛が長引いたことなどから、個人消費が低調に推移するなど、厳しい状況が続きました。

## 【2021年9月期の業績等の概要（連結）】

連結損益につきましては、経常収益は546億13百万円、経常費用は399億65百万円となりました。この結果、経常利益は146億48百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は98億51百万円となりました。

## 【2021年9月期の業績等の概要（単体）】

損益につきましては、経常収益は、子会社からの受取配当金の減少を主因に、前年同期比7億96百万円減少し、549億46百万円となりました。経常費用は本社ビル関連費用の増加（移転に伴う初期費用含む）を主因に、前年同期比19億35百万円増加し、399億85百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比27億31百万円減益の149億61百万円、中間純利益は、前年同期比24億83百万円減益の104億75百万円となりました。

主要勘定の残高につきましては、貸出金は、事業性貸出等と個人ローンがともに増加した結果、前年同期比2,337億円増加の6兆8,240億円となりました。預金等（譲渡性預金含む）は、個人預金、法人預金、公金・金融預金とも増加した結果、前年同期比4,882億円増加の8兆8,119億円となりました。有価証券は、前年同期比2,555億円増加の1兆6,012億円となりました。